

平成 24 年 10 月 19 日

各 位

会 社 名 五洋インテックス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 大脇 功嗣  
 ( J A S D A Q ・ コード 7519 )  
 問合せ先  
 役職・氏名 管理部長 大橋 肇  
 電 話 0568-76-1050

## 業績予想の修正に関するお知らせ

平成24年5月8日付当社「平成24年3月期決算短信」において発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

### 記

#### 1. 平成 25 年 3 月期連結業績予想の修正

##### (1) 第 2 四半期連結累計期間 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回予想 (A)	610	△80	△85	△90	△11.88
今回修正 (B)	573	△121	△138	△146	△18.03
増減額 (B - A)	△37	△41	△53	△56	—
増 減 率	△6.1%	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	486	△92	△106	△113	△18.26

- (注) 1 前回予想の1株当たり四半期純利益は、期中平均株式数 7,573,350 株に基づいて算出しております。  
 2 今回修正の1株当たり四半期純利益は、期中平均株式数 8,129,438 株に基づいて算出しております。  
 3 前期第2四半期実績の1株当たり四半期純利益は、期中平均株式数 6,229,087 株に基づいて算出しております。

#### 2. 平成 25 年 3 月期個別業績予想の修正

##### (1) 第 2 四半期累計期間 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円銭
前回予想 (A)	560	△80	△90	△11.88
今回修正 (B)	522	△132	△140	△17.24
増減額 (B - A)	△38	△52	△50	—
増 減 率	△6.8%	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	434	△105	△112	△17.98

- (注) 1 前回予想の1株当たり四半期純利益は、期中平均株式数 7,573,350 株に基づいて算出しております。  
 2 今回修正の1株当たり四半期純利益は、期中平均株式数 8,129,438 株に基づいて算出しております。

3 前期第2四半期実績の1株当たり四半期純利益は、期中平均株式数 6,229,087 株に基づいて算出しております。

### 3. 修正の理由

景気は、復興関連の国内需要を背景に回復の兆しはあるものの、欧州債務問題に伴う海外景気の減速、円高の進行等先行き不透明な状況が続いております。当社グループを取り巻く事業環境は、カーテン市場に影響を及ぼします新設住宅着工総戸数が6月以降減少しており厳しい経営環境にあります。

このような状況の下、当社グループは営業面におきましては、平成23年9月に発売を開始しました「インハウス」ブランドの「+ESSENCE」（プラスエッセンス）の販売に注力いたしましたが、新規事業でありますリモデリング（リフォーム）事業開始の遅れ、「インハウス」見本帳の改訂及び採光カーテン「エコフィックス」の発売が遅れたことなどにより、売上高は当初の予想より減少する見込みとなりました。また、利益面におきましては、デフレの進行により当初の予想より粗利額が減少、営業外費用として第三者割当による社債発行費が発生したことで、当初の予想から損失が拡大する見込みとなりました。

なお、個別業績予想の修正理由は、上記理由と同様であります。

### 4. 通期の見通し

通期の見通しに関しましては、平成24年9月に4年ぶりに大幅改訂しました「インハウス」見本帳及び、平成24年10月より全国主要拠点で本格発売を開始しました「エコフィックス」による販売強化、環境商材の販売の開始、リモデリング（リフォーム）事業の事業展開を実施し、売上高の増加を図ってまいります。

以上のことから通期の業績予想につきましては、現在のところ前回予想数値に変更はありません。

(注) この資料に記載しております業績等の予想数値におきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上